

2018年度 児童思春期心理療法セミナー ご案内

「破局の心理臨床と解離の心理臨床」

第Ⅰ部:「破局の心理臨床」

第1回 平成30年 7月 16日(月・祝)

松木 邦裕先生 「破局の心理臨床-こころの破綻を考える」

第Ⅱ部:「解離の心理臨床」

第2回 平成30年 9月 24日(月・祝)

飛谷 渉先生 「バーチャル・ワールドと現代の思春期-

『君の名は。』と『進撃の巨人』に見る若者の心」

第3回 平成31年 2月 10日(日)

木部 則雄先生 「トラウマと虐待・解離-村上春樹作

『海辺のカフカ』から、被虐待児のメンタリティを考える」

主催 : 谷町こどもセンター ・ 関西心理センター

〒542-0012 大阪府中央区谷町9丁目3-11 東谷町ビル 3F

Tel 06(6767)6701(代) Fax 06(6767)6702

ホームページ <http://www.kansai-kodomo.jp/>

春陽の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

近年、発達障害が心理臨床の場において、とても注目され、発達障害ではないにしても、自分の心に接触することが難しい子ども、マインドレスな心の状態を持つ子どもに出会うことも増えてきているように思います。急速な時代の変化もあってか、かつてのように葛藤するのではなく、解離症状で対処している子どもに出会うことは、心理臨床の現場ではもはや珍しいことではないように思いますし、解離の背後に必ずしも虐待があるわけでもありません。

一昨年のアニメ映画「君の名は。」が、若い世代を中心にヒットしたのも、そのような解離の心性に多くの人が親和性を感じたからかもしれません。そこで今回は、葛藤を持つとは相反する、現代の病理ともいえる解離とその周辺の問題について様々な角度から検討してみようと「破局の心理臨床」と「解離の心理臨床」と2部構成のテーマで開催いたします。

解離の背後にはトラウマの存在が伺えたりしますが、そもそもつながりが切断されていたり、言語交流が届きにくい状況があると思われれます。このような心の世界にどのように治療的に関われるかについて、第Ⅰ部:「破局の心理臨床」で松木先生にご講義していただきます。そして第Ⅱ部:「解離の心理臨床」では、飛谷先生・木部先生に、よりわかりやすく映画・漫画や小説を題材として、解離心性に馴染みがあると思われる現代の思春期や被虐待児の心の世界についてご講義していただき、より解離の世界とその治療について、皆様と一緒に深く学んでいきたいと思ひます。

是非、皆様に積極的にご参加いただけますよう、お願いいたします。

谷町こどもセンター・関西心理センター
所長 野宮新

《プログラム》

- 〈時間〉: 【受付】 12:00～
【講義】 12:30～14:40 (14:40～15:00 休憩時間)
【事例検討】 15:00～17:30 (各回事例発表を募集します)

〈会場〉: 大阪府社会福祉会館 (大阪市中央区谷町7丁目4番15号)

最寄駅: 地下鉄谷町線・鶴見緑地線 谷町6丁目駅下車

各回、会場のお部屋が異なりますので、ご注意下さい。

(第1回目:403号室、第2回目:301号室、第3回目:403号室)

《講師紹介》

- 松木 邦裕 先生 : 精神分析オフィス・京都大学名誉教授
(精神分析家、精神科医、臨床心理士、日本精神分析学会認定スーパーヴァイザー)
飛谷 渉先生 : 大阪教育大学保健センター准教授
(精神科医、日本精神分析学会認定スーパーヴァイザー)
木部 則雄 先生 : こども・思春期メンタルクリニック／白百合女子大学文学部児童文化学科発達心理学専攻教授(精神科医、臨床心理士)

〈第Ⅰ部:“破局の心理臨床”〉

第1回目 平成 30年7月16日(月・祝)

大阪府社会福祉会館 403

「破局の心理臨床-こころの破綻を考える」 松木 邦裕先生

私たちのこころが成長するには、それまでに作り上げてきた自分を一度壊さねばなりません。それは、自分観や世界観を壊すことであり、精神的には防衛を壊すことでもあります。それが子ども時代や思春期・青年期に健康な発達の過程で起こることもあれば、精神破綻につながることもあります。そこには乳児期の破局の経験があるのかもしれませんが。精神的な治療で私たちはそこにかかわることができるのでしょうか。破局と破綻をテーマにこころを見て行きたいと思ひます。

<第Ⅱ部：“解離の心理臨床”>

第2回目 平成 30年9月24日(月・祝)

大阪府社会福祉会館 301

「バーチャル・ワールドと現代の思春期-

『君の名は。』と『進撃の巨人』にみる若者のこころ」

飛谷 渉先生

現代社会においてコミュニケーション手段は、近來まれなスピードで変化している。これらの生活様式の変化は、「現代的主体」の在り方と「現代的な世界体験様式」として表面化している。思春期青年期臨床の現場にも、ASDやADHDの要素を様々な程度で有する「新しい青少年たち」が現れるようになった。彼らは一体誰なのか。今回のセミナーでは、最近話題となった映画「君の名は。」とベストセラー漫画「進撃の巨人」を題材として、「いまどきの思春期」を照らし出してみたい。

特に、現代の若者の心では、SNSによる偽コミュニケーション・ワールドが「夢見ること」に取って代わることで、主体性をもった自分自身の心の体験が希薄化しているように見える。彼らにとっては、解離や離人の体験が馴染みの状態となりつつあるのかもしれない。急速に変わりつつある現代の若者の心のあり方について、特に精神分析的臨床の現場から考えてみたい。

第1回目 平成 31年2月10日(日)

大阪府社会福祉会館 403

「トラウマと虐待・解離-

村上春樹作『海辺のカフカ』から、被虐待児のメンタリティを考える」

木部 則雄先生

村上春樹作「海辺のカフカ」から、被虐待児のメンタリティに関して論じる。カフカは母に捨てられ、母を求め旅に出るが、父からのエディプスの呪いによって、カフカの成長は阻まれる。カフカは自ら出生とその謎に挑むことで、大いなる成長を達成する。この際、カフカの分身とも、解離した存在であるカラスの存在が重要な役割を為した。この小説を精神分析的に解釈することは、被虐待児のメンタリティの理解に大いに役立つであろう。

申し込み方法

《対象》 臨床心理士、精神科医、小児科医、その他医療・教育・福祉等で臨床に携わっておられる職種、あるいは現在、心理臨床を学んでいる大学院生で守秘義務を遵守できる方。

《定員》 100名

《受講料》 一般 全3回 21,000円 (1回: 9,000円 / 2回: 18,000円)

院生 全3回 18,000円 (1回: 7,000円 / 2回: 14,000円)

《申し込み・お振り込み期限》

第1回から もしくは 第1回のみご参加の方 6月29日(金)まで

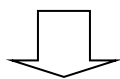
第2回以降 もしくは 第2回のみご参加の方 8月31日(金)まで

第3回のみご参加の方 平成31年1月31日(木)まで

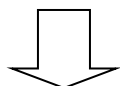
※ 但し振り込みを確認した時点で先着順に受講者とさせていただきます。

《申し込み手続き》

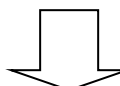
- ① センターHP <http://www.kansai-kodomo.jp/> 内のお申込みフォームからお申込みください。
なお、FAX(06-6767-6702)や郵送、Eメール(申込用紙添付)[送信 tanimachiseminar@yahoo.co.jp](mailto:tanimachiseminar@yahoo.co.jp) でのお申込みも可能です。



- ② 下記の銀行口座に受講料をお振込下さい。お振込をもって、(仮)受講受付 となります。




三菱東京 UFJ 銀行 上本町支店 普 1097522 株式会社 カソウ 代表取締役 鍋島 弘美



- ③ 6月29日(金)までにお振り込みいただいた方には、7月2日(月)以降に、受講受付完了のお知らせと会場までの地図をメールにてご連絡いたします。本メールをもって受講受付完了です。
6月29日以降にお振り込みいただいた方にも、順次ご連絡いたします。

- ※ 一度納入頂きました受講料は、返金いたしかねますので、あらかじめご了承下さい。
定員に達し、受講できない方のみ納入されました受講料は返金させていただきます。
- ※ 受講票はございませんので、お振込みの控えは、大切に保管のほどをお願いいたします。
- ※ 日本臨床心理士資格認定協会の研修証明書は、定められた基準に基づいて申請いたします。
- ※ IT 機器での入力記録、録音、録画は禁止です。

《申し込み・問い合わせ先》

 谷町こどもセンター セミナー係

〒542-0012 大阪市中央区谷町9丁目3-11 東谷町ビル 3F

Tel:06(6767)6701(代) Fax:06(6767)6702

E-mail:tanimachiseminar@yahoo.co.jp (セミナー事務局)

<http://www.kansai-kodomo.jp/>